

No 6 : 現地取引先へ積極営業

8月15～17日の3日間、香港コンベンション&エキシビションセンターにおいて、アジア最大級の総合食品見本市「Food Expo PRO」が開催された。ジャパンパビリオン内に本県がブースを確保し、農水産物加工品製造の壮関（矢板市）が出品。県国際経済課と香港事務所が、現地でのサポートを行った。

同社は「茎わかめ」を主力に、干し芋や梅、れんこんチップ、ドライフルーツなどを製造し、素材菓子で日本国内ナンバーワンのシェアを誇る。香港を含む世界各国へ自社商品を輸出しているが、さらなる売り上げ増などを目指して見本市に参加していただいた。

今年の見本市に訪れたバイヤーは、日本をはじめ中国や台湾、インドネシア、韓国、マレーシア、タイなど60の国・地域から2万人以上。香港で日本食が人気という理由もあってか、ジャパンパビリオンは特に人気を集め、常に多くの人でにぎわった。

本県ブースでは、同社の主力商品である茎わかめをはじめとしたバラエティー豊かな商品が多くバイヤーの興味を引いていた。茎わかめに関しては、試食をふんだんに提供するとともにアンケートも実施し、ターゲットである女性の感想を多く収集できたようだ。

同社は見本市の開催時間以外でも、事前に連絡を取った香港の現地取引先などと商談を行うなど、精力的に営業活動を展開していた。

同社の海外事業を担う阿久津真一氏は「お客さまと会って対面で話をするだけで、ビジネスが進むスピードが格段に違う」と話しており、今回の見本市参加を現地取引先などに会うきっかけとして効果的に活用していただけたようである。かなり深い話もできたとのことなので、今後、香港における同社の売り上げがさらに伸びていくことを期待したい。

県は、海外への販路開拓・拡大を目指す県内企業などを支援するため、見本市出展だけでなくセミナー開催や補助事業など、さまざまな施策を実施している。海外への販路開拓・拡大を検討される際には、ぜひ一度、お気軽に県国際経済課にお問い合わせいただきたい。



【Food Expo PROに出展した本県ブース
＝8月15日、香港コンベンション&エキシビションセンター】

（県香港事務所長 如木啓之）